

詩・俳句

今回の児童・生徒のコーナーでは、光中のお友達の作品を紹介します。

白いアルバム

三年 高橋妙江

心の目を開けば
白いアルバムがそこにある
ページをめくるたび
私の十五年間がはじけ出て
心の中は
思い出でいっぱい

あの時の場面
あの時の言葉
あの時のあの人
あの時の私
くやしく 悲しく
うれしく 楽しく
あの時にはもどれない

十五年かけてつけた
わたしの足跡
つけなおすことは
無理な願い

白いアルバムの
空白のらん
これからの私
私がつくる未来のらん
しっかりと
足跡をつけてゆきたい

一生がいの
白いアルバムを
七色の幸せ色に
染めるために

空の道路

一年 伊藤まゆみ

空に道路ができた
昨日までは、雲と太陽しかなかった空に
今日は一本の白い道路が

白い道路は、時がたつと消えてしまった
まるで 雨あがりにできた
七色にかがやくにじのように
白い道路は 空にできたまぼろしだ

三年 椎名たか子
虹の橋 希望をかけて天の上

三年 越川美佐子
重五の月ふかれる鯉に青き空

三年 布施純子

甲子園若人の汗かがやかに

一年 秋葉文夫

潮風に うたれてなびく波の音

一年 伊藤茂子

海開き早く早く子供達

一年 伊藤克幸

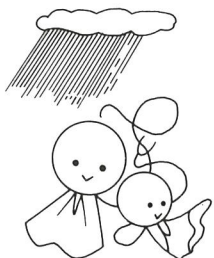
春来れば別れもあれど出会いあり

一年 山崎 薫

雲の上おにの子さわぐ夏の空

一年 伊藤健志

春近し 子供らの声たのもしや



電々公社

電話の

エチケット

- ベルが鳴ったらすぐに出る「モシモシ」は不要……〇〇でございませす
- 左手は受話器を右手はメモのご用意を
- お話は要領よく簡単に
- もしお話中に切れたらかけた方からかけ直しを
- 間違っかかった電話にも親切な応対を
- 電話にも笑顔で対応
- お話が終ったら電話をかけた人から先に切る
- 間違い電話「ガチャン」と切るのは大変失礼
- すみませんの一言を

